

# かるまい

## 議会だより



No.184

平成23年2月28日



軽米八幡宮元旦祭（1月1日）

### 12月定例会

- 12月定例会可決議案 ..... 2～3
- 12月定例会補正予算等審査特別委員長報告 ..... 3
- 12月定例会請願陳情・12月定例会一般質問事項 ..... 4
- 12月定例会一般質問 7議員 ..... 5～11
- 臨時会可決議案 ..... 12

# 一般会計補正予算を六十億二千八百二十三万九千円に補正 補正予算など六議案を可決



第36回定例会 本会議 (12月10日)

第三十六回定例会は、十二月三日から十日までの八日間の会期で開かれました。提案された案件は、条例制定一件、平成二十二年補正予算五件の計六議案でした。全ての議案は補正予算等審査特別委員会を設置し慎重に審査を行いました。この結果は十二月十日の最終本会議で報告、すべて原案のとおり可決しました。一般質問は七人の議員が行い、町政執行についていただきました。

## 12月定例会 可決した主な議案

### 補正予算

▼平成二十二年軽米町一般会計補正予算(第四号)  
総額に五千八百九十二万四千円を追加し、総額を六十億一千八百三十九万九千円とする。

歳入の主なものは国庫補助金、県補助金など。  
歳出の主なものは社会福祉費、道路橋りょう費など。

▼平成二十二年軽米町国民健康保険特別会計補正予算(第二号)  
総額に二千八十五万三千円を追加し、総額を十三億八千七百三十五万九千円とする。

歳入の主なものは国庫補助金、基金繰入金など。  
歳出の主なものは高額療養費など。

### 条例

▼軽米町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例  
債務負担行為以外に複数年度に渡り締結できる契約を定める。

## 12月定例会 可決した主な議案

▼平成二十二年軽米町後高齢者医療特別会計補正予算(第一号)  
総額に五百五十八万九千円を追加し、総額を九千二百八十八万九千円とする。

歳入の主なものは一般会計繰入金など。  
歳出の主なものは後期高齢者医療広域連合納付金など。

▼平成二十二年軽米町下水道事業特別会計補正予算(第二号)  
総額から三百八十四千円を減額し、総額を一億三千九百六十七千円とする。

歳入の主なものは一般会計繰入金。  
歳出の主なものは予備費。

### 議員発議

▼平成二十一年度軽米町水道事業会計補正予算(第二号)  
資本的支出に七百万円を追加し、総額を一億八千九百七十二万六千円とした。

▼米価大暴落に歯止めをかける政策を求める意見書の提出について  
米の価格の安定と稲作農家の生活の安定のため、政府関係機関に意見書を提出する。

▼TPPへの参加に反対する意見書の提出について  
日本の農業と地域経済、国民の食の安全を守るため政府関係機関に意見書を提出する。

## 人事案件

人権擁護委員



菅波 俊美さん(新)  
(桜山)

平成二十二年十二月三日、人権擁護委員の推薦について菅波俊美さんを適任と答申しました。

## 第36回定例会補正予算等審査特別委員会 委員長報告

～原案のとおり可決しました～



特別委員長 中村 光夫

それでは、報告申し上げます。今定例会で設置されました平成二十二年軽米町一般会計補正予算等審査特別委員会に付託された案件は議案第一号、軽米町長期継続契約を締結することができると、議案第二号、平成二十二年軽米町一般会計補正予算第四号から議案第六号、平成二十二年軽米町下水道事業会計補正予算第二号までの予算関係五件の、合わせて六件の議案でございます。

特別委員会では慎重に審議がなされましたが、議案第一号では公用車のリース契約あるいは単年度会計の原則に対する債務負担との

関係等、活発な質疑が行われました。平成二十二年軽米町一般会計補正予算関係では、ホームページの掲示板の管理のあり方、あるいは軽米高校の支援等についての質疑意見等、活発な議論がなされました。審議の結果、議案第一号から議案第六号まで、全議案について全会一致で賛成可と決しました。以上、委員長の報告いたします。

みなさんからの  
**請願と陳情**  
十二月定例会

**採 択**

▼米価大暴落に歯止めをかける政策を求める請願者  
二戸農民組合軽米支部 支部長 関向 良雄  
紹介議員 滝澤利男、館坂久人

▼米価大暴落に歯止めをかける政策を求める請願者  
二戸農民組合軽米支部 支部長 関向 良雄  
紹介議員 滝澤利男、館坂久人

▼TPPへの参加に反対する請願者  
二戸農民組合軽米支部 支部長 関向 良雄  
紹介議員 滝澤利男、館坂久人  
要旨  
TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）は協定参加国内で原則的に全ての品目の関税を撤廃する協定であり、環太平洋地域全体で実施された場合には日本の食料自給率は急落する。日本農業と地域経済、国民生活に与える影響は極めて甚大であり、食料自給率を向上させるという観点からも、TPPに参加しないことについて、政府及び関係機関に対し意見書を提出いただきたい。

最近の米価の大暴落により稲作農家の経営は逼迫し、地域経済全体を脅かす深刻な事態となっている。年産にかかわらず四十万トン程度の買入れを行うこと及び、米価の下落対策を直ちに講ずることについて、政府及び関係機関に対し意見書を提出いただきたい。

**12月定例会**

通告した質問事項は次のとおりです

**一般質問 7議員**

- |   |  |
|---|--|
| 平成二十二年十二月六日 質問議員四名  | ○中村 光夫 議員<br>・町の活性化について  |
| ○松浦 求 議員<br>・工事等の請負契約について<br>・役場行政機構について  | ○前田 泰穂 議員<br>・個人情報保護について<br>・火葬場の建設について<br>・九月議会の町長発言（公約）について<br>・国民体育大会開催内定後の対応について<br>・協働の町づくり地域活動補助金創設の考えはないか |
| ○茶屋 隆 議員<br>・軽米小学校の建設について   | ○大村 税 議員<br>・観光振興について  |
| ○古舘機智男 議員<br>・高すぎる国保税の引き下げについて<br>・地域公共交通再生について<br>・子育て日本一の町づくりの具体的内容について<br>・TPPの日本の参加について | ○松浦 満雄 議員<br>・軽米高校の支援について<br>・行政課題について   |
| 平成二十二年十二月七日 質問議員三名  |  |

**問 町の活性化のため、宿泊施設を整備してはどうか**

**答 これまでの宿泊者数や需要見込みを調査しながら進めたい**

【中村議員】 当町で開催されているチューリップフェスティバル、夏祭り、秋祭り、各種スポーツ大会等には近隣市町村及び県内外から多くの方々が訪れるが、その大部分は日帰り客であるのが現状である。町には宿泊施設が整備されていないことも一つの理由であり、宿泊される方があれば地元の経済効果も期待できるのではないかと。また、軽米町の豊かな自然を活用し、都市からの体験学習等の誘致を図るべきと思うし、スポーツ関係者の方からは宿泊施設を整備して大学、高校等の運動クラブの合宿の誘致を図るべきとの声もある。大学、高校等の運動クラブを招くことにより当町のスポーツの競技力向上、スポーツ愛好者の増加によるスポーツ振興、運動公園等の体育施設の利用促進も図られ、また、町をPRする有効な手段でもあると思う。

【山本町長】 人口の減少が続いている当町の活性化を推進するためには、若者が定住できる環境づくりと交流人口の拡大に努めていくことが重要と認識している。このため、町観光協会が主体となり実施しているチューリップフェスティバルや秋祭りの他、商工会等が中心となり開催しているかまい夏祭り、軽トラ市などの開催により集客と賑わい創出に努めている。平成二十年度より行っている都市との交流事業については、当町の豊かな自然を活かし、自然や農業体験のほか地域の郷土食、文化、イベント等への参加などを通じ交流を図り、首都圏より年間約百名の方々に来町いただいている。

また、フォリストパークにチューリップの季節後の花としてアジサイを、またハートフルスポーツランドには芝桜を植栽し、春から秋にかけての花の名所づくりに取り組んでおり、今後とも多くの方々に当町を訪れていただけるよう努めてまいりたい。

【中村議員】 青少年ホームは老朽化しており、維持補修費をかけてその都度修理していくと、維持補修費がかさむ一方だと思ふ。地元の経済効果、町の宣伝効果、体育施設の利用促進、都市部との交流事業の推進のためにも、新築すべきと思ふ。施設単独では黒字は多分見込めないと思ふが、宣伝効果あるいは体育関係の施設利用、スポーツ振興等、施設単体の決算だけではなく行政全体の効果も勘案して是非とも整備の方向で検討するべきと思ふので、再度答弁をお願いしたい。



青少年ホーム



中村 光夫 議員

また、フォリストパークにチューリップの季節後の花としてアジサイを、またハートフルスポーツランドには芝桜を植栽し、春から秋にかけての花の名所づくりに取り組んでおり、今後とも多くの方々に当町を訪れていただけるよう努めてまいりたい。

また、フォリストパークにチューリップの季節後の花としてアジサイを、またハートフルスポーツランドには芝桜を植栽し、春から秋にかけての花の名所づくりに取り組んでおり、今後とも多くの方々に当町を訪れていただけるよう努めてまいりたい。

また、フォリストパークにチューリップの季節後の花としてアジサイを、またハートフルスポーツランドには芝桜を植栽し、春から秋にかけての花の名所づくりに取り組んでおり、今後とも多くの方々に当町を訪れていただけるよう努めてまいりたい。

また、フォリストパークにチューリップの季節後の花としてアジサイを、またハートフルスポーツランドには芝桜を植栽し、春から秋にかけての花の名所づくりに取り組んでおり、今後とも多くの方々に当町を訪れていただけるよう努めてまいりたい。

問 町営工事の指名競争入札業者選定の手続きについて伺う

答 工事ごとに町営建設工事入札審議会で選定している

問 グループ制導入後の検証の内容を伺う

答 これまで問題や苦情もなく、グループ制は定着しているものと思われる



松浦 求 議員

【松浦議員】 九月に規定外措置で業者が失格と新聞報道され、十二月には町が入札名簿から不当に除外をしたとして土木業者が町を提訴したという報道があった。町営工事の請負契約時の業者選定や格付けの基準などの詳細を伺う。

【松浦議員】 業者側は七月二十七日の入札に指名されなかったことは不当な規定外措置であるとしている。一方、当局は規定外措置ではなく、通常の事務手続きであるという説明であった。格付け変更の経緯と、当該業者が業者選定時に県の二級格付けがなくなっていたか改めて伺う。

【松浦議員】 町が提訴されたと報道されたが、町にその文書が届いているか。次に、入札手続きについて申し合わせ事項や慣例で運用されている点が誤解を招いていると思う。この機会に運用について厳格に整備する必要があると思うが、検討を進めて欲しい。

【田中副町長】 今回のような事案が出たことを受け、内容をもう一度精査して必要に応じて見直しをし、誤解を招かないような入札制度を検討していきたい。

【野中総務課長】 平成十八年度から従来の九課一室から六課に統合し、係制からグループ制に移行した。これまで大きな混乱や問題、苦情等もなく、定着しているものと思われる。

【山本町長】 提訴文はまだ

【野中総務課長】 重要施策や重点的課題等を処理するプロジェクトチームを編成して検討してきた。昨年度から様々な研修に職員を派遣しており、これからの町づくりに対応できるような人材育成も含めた検討が必要と考えている。



軽米町役場

【野中総務課長】 当町の町営建設工事にかかる指名競争入札参加者の資格登録は、地方自治法に基づき、「軽米町営建設工事入札参加者の資格審査及び選定要綱」並びに「軽米町営建設工事の請負契約にかかる指名競争入札に参加する者の名簿に記載するものの基準」を制定して適切に運用している。

【野中総務課長】 当該業者が県において経常JV（共同企業体）として土木A級に格付けされ、単体での土木B級のランクがなくなることから、当町においても土木二級のランクをなくした。その後、当該業者が県の建築C級にランクされたため、当町の名簿にも新たに建築三級として登録し、八月に発注した建物修繕工事の入札に参加いただいた。

【山本町長】 これまで入札については透明性、客観性、公平性ある取り扱いを行ってきた。今回の事案は、当該内容を理解いただけず大変遺憾に考えている。

【松浦議員】 グループ制を導入以降、随時見直しをしていると思うが、その検証の中身を伺いたい。

問 軽米小学校建設の進捗状況を伺う

答 今年度は地質調査、用地測量、基本設計を進めていく

問 来年度以降の職員採用計画を伺う

答 職員定員適正化計画を基本にバランスの取れた職員管理を図っていく

問 当町の入札に関して、町長の考えを伺う

答 透明性、客観性、公平性のある取り扱いをしてきた

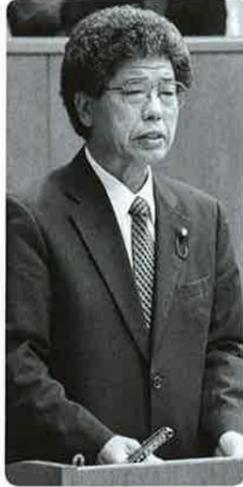
【茶屋議員】 軽米小学校の建設について、現時点での進捗状況と今後の計画について伺う。

【江刺家教育次長】 今年度は地質調査、用地測量、基本設計を進めてまいりたいと考えている。また、来年度以降は皆様のご意見をお聞きしながら実施設計を行い、同時に造成工事に着手して、翌平成二十四年度には建設工事に着手し、最終的には平成二十六年に既存校舎の解体撤去と屋外環境の整備を行い完成へと進めてまいりたい。

【茶屋議員】 軽米小学校の建設について、現時点での進捗状況と今後の計画について伺う。

【茶屋議員】 今年度採用者を民間へ研修に出したと聞いたが、研修の目的と結果、今後も続けるのかどうかを伺う。

【山本町長】 接遇の向上を



茶屋 隆 議員



軽米小学校

【茶屋議員】 職員の採用について、今年度の募集人数と受験者数、来年度以降の採用計画について伺う。

【野中総務課長】 本年度は、一般事務及び保健師は若干名を採用予定数として

【野中総務課長】 当町の落札状況については、工事発注件数は平成二十年度は五

【山本町長】 当町の入札については、入札契約手続きの透明性、客観性、公平性ある取り扱いをしてきたと考えている。



大村 税 議員



軽米町観光案内板 (ミルみるハウス前)

**問** 軽米町の観光マップを作成したり観光案内板を設置してはどうか

**答** 多くの方々に訪れていただけるようPRに努めたい

**大村議員** 産業振興のため、情報収集、企画等を専門に行えるよう観光グループの強化を図ってほしい。

以前にも町の観光マップを作成し集客活動を展開すべきと主張してきたが、現状を伺う。

他市町村の官庁や産直企業等に観光マップ配布を依頼してはどうか。また、案内板を設置すべきと思う。

現在、情報無線で放送している昼のチャイムをもっと明るい曲へと見直してはどうか。

**山本町長** 当町の観光推進については、平成二十年度より取り組んでいる首都圏生協向けの農産物の流通と併せ、首都圏消費者との交流事業を行っている。また、フォリストパークにはチューリップの季節後の花として平成二十一年度からアジサイを植栽し、ハートフルスポーツランドのパー

また、平成二十四年に、JR六社による国内最大規模の観光キャンペーンとして「いわてディスプレイーション・キャンペーン」が三十二年ぶりに岩手県で開催されることとなっており、これを機に二戸・久慈地域の広域的観光産業の振興を図るため、県広域振興局の主導の下に、管内の八市町村と観光協会等構

成する北いわて広域観光推進協議会が設立された。

今後は、この協議会内に観光素材研究会を設置し、二戸・久慈地域の観光素材の集約と観光商品等の発掘と磨き上げを行い、広域的な集客取り組みを推進し、北岩手の観光産業の振興を図ることとしている。

情報無線より流れているチャイムは、情報無線を整備してから同じ音楽を流しており、軽米町のメロディとして町民の方にとけ込んでいる部分もあると思われるが、今後、皆様のご意見を伺いながら検討してまいります。

**大村議員** チューリップや芝桜などの花だけの集客は、気候に左右されて安定した集客は見込めないのではないかと。軽米町ならではの食と融合させたイベントを計画してはどうか。

**山本町長** 軽米町は八戸・久慈・二戸の中心に位置し交通量も多く、私は交流人口は多いと思っております。ただ、立ち寄って見ていただく名所や道の駅のような憩いの場がないためにほとんど素通りされてしま

これまで様々な名所を見てきたが、花は集客力があるので、花の植栽事業はこれからも継続していきたい。

軽米は雑穀を中心とした豊富な食材があり、色んな料理が提供できるので、そういったものも含めてこれから検討してまいります。

**山本町長** 議員がおっしゃるように、首都圏の方々による軽米のファンクラブが結成され、私がおの会長を努めている。今後、そういう方々の輪を拡げ、軽米の農業従事者や色んな地域で活躍する方々との連携を密にしながら、もっと町内全般に知らしめて皆さんに参加いただいで本格的な交流活動を展開してまいります。



ハートフル野球場



前田 泰穂 議員

**問** 個人情報保護について、今後の対応を伺う

**答** 個人情報保護条例を遵守し、慎重かつ適切な事務処理を行っていく

**問** 火葬場の新築計画はあるか

**答** 現在策定中の総合発展計画に盛り込んでいく

**問** 九月定例会での町長の発言の詳細を伺う

**答** 百人規模の雇用創出と、少子化対策や育児支援により子育て環境日本一を目指す

**問** 国民体育大会で使用される施設の整備状況を伺う

**答** ハートフル野球場は適宜改修を行ってきた

**問** 地域活性化補助制度を創設してはどうか

**答** 地域活動支援交付金制度の設立を進めてまいりたい

**前田議員** 町が個人情報保護に違反したという新聞報道があったが、その対応と今後の取り組みを伺う。

**野中総務課長** 軽米町議会全員協議会に提出した資料の中に公開すべきでない業者名が記載されていた。業者の方には謝罪に伺った。

個人情報保護条例に対する職員の認識が不足しており、軽率な事務処理により業者、議員ならびに町民の皆様にご迷惑をおかけしたことに謝罪を申し上げます。今後は軽米町個人情報保護条例を遵守するとともに、慎重かつ適切な事務処理を行うよう努めていく。

**前田議員** 過度の行政改革によって職員が減ったために入あたりの事務量が増大したことが原因

ではないかと思う。今後の取り組みを再度伺う。

**山本町長** 個人情報の漏洩に関してはお詫び申し上げます。ご指摘の点も勘案しながら職員の適正な人数等を検討してまいります。

**前田議員** 火葬場の新築計画はあるか。あるとすれば町の総合発展計画に盛り込まれているのか伺う。

**杉浦町民生課長** 火葬場は建築後三十五年経過しており、大小各種の改修を行い、施設管理に努めてきた。新築については現在策定中の総合発展計画にも盛り込んでいきたい。

**前田議員** 九月定例会で町長が発言した「百人規模の企業誘致」と「子育て環境日本一の町」の内容を伺う。

**山本町長** 地域資源や食産業に関連した企業の誘致、六次産業化の推進による内発型企業の育成、福祉産業や緊急雇用対策での雇用拡大などにより百人規模の雇用創出を図ってまいります。

少子化対策としては、保育所

や児童館の統合、幼稚園と保育園の三元化、入所児童の保育費の軽減、ワクチン接種費用の減額、育児支援事業の充実、空き家などを活用しての町外からの子育て世帯の募集など、子育て環境日本一の町を目指してまいります。

**前田議員** ①当町が国民体育大会の野球競技会場に決まっていますが、関係施設の整備状況を伺う。

②大会の際の、軽米町の宣伝について考えているか。

**中野教育長** ①野球場の内野改修工事、外野フェンスの塗装工事を行ってきた。

本年五月に中央競技団体の視察が行われ、ハートフル野球場及び町営野球場、ハートフルランド多目的広場は、いずれも施設の問題ないという評価をいただいている。

②関係機関やボランティア団体等を育成し、町の総力を挙げて大会運営を行いたい。

**前田議員** ①メインの野球場の他に練習用の球場が二つ必要と聞いたが、町営野球場とハートフル球場をサブ球場として使うのか。

②審判員、記録員、アナウンス等の運営体制は十分か。

③宿泊はあるのか、あるとすれば

ばその対応を伺う。

④ハートフル野球場までの道路を改修予定と聞いたが、詳細を伺う。

**中野教育長** ①練習用球場については町営野球場とハートフルランド多目的広場、併せて軽米中学校グラウンドを整備して使用していく。

②県では二十五年年度の正式な開催決定以降に実行委員会を設立し、日程等を決めていくと聞いている。県の動き等を見ながら対応していきたい。

③民間宿泊施設とミレットパーク、ゴルフ場の宿泊施設を合わせて約百十人の宿泊が可能と考えている。ただ、具体的な日程等が未定なので、状況を見ながら対応したい。

④道路改修の前に町道認定をする必要がある、それに向けて現在取り組んでいる。

**前田議員** 町民の皆さんの自由な発想での地域活性化事業を支援するため、地域活性化補助金を創設してはどうか。

**山本町長** 地域活動が効果的に行える体制づくりや、地域活動支援交付金制度の創設を進めてまいります。



松浦 満雄 議員



軽米高校

**問** 軽米高校への副食給食の提供について進捗状況を伺う

**答** 四月からの開始に向けて高校やPTAと協議を進めている

**問** 三期目の重点施策を伺う

**答** 農業振興、少子高齢化対策、雇用拡大などを推進していく

**質** 松浦議員 ①二十三年度の、軽米高校への志願状況を伺う。

**答** ②軽米高校への副食給食提供について、進捗状況を伺う。

**質** ③現在バス通学の生徒へ助成を行っているが、利用状況は芳しくないという。利用状況は、助成額の増額や、金田一から晴山、山内を経由するスクールバスを運行してはどうか。

**答** ④軽米高校を守り育てる会を結成し、町長を先頭に町民運動を展開してはどうか。

**質** 江刺家教育次長 ①町内中学校からの志願者数は七十二名となっている。

**答** ②アンケートを実施した結果、生徒二百七十九名中二百三十八名から回答があり、そのうち六十五%が給食を申し込みたいと回答している。現在、高校のPTA及び教職員他、関係者の皆様と給食の実現に向けて協議を重ねている。

**質** ④県立高校再編計画の策定に向けて活動するべき時期だ

**質** 古館議員 国保引き下げの考えはないか。低所得者世帯に対する国保の軽減制度の対象世帯数を伺う。

**答** 短期保険証の交付世帯数を伺う。発行を極力少なくし、有効期間を現在の二ヶ月から最低六ヶ月にすべきと思うがどうか。

**質** 杉浦町民生課長 当町の国保の課税額は一人当たり七万四千九百四十一円、県内平均は八万八千二百九十八円となっている。収納率は九十六、四%で、県内平均九十一、九%に対して四、五ポイントほど上回っている。

**質** 国保の軽減世帯数は、七割軽減世帯が六百三十二世帯、五割軽減が六百九十九世帯、二割軽減が二百七十九世帯、全体では一千八十世帯となっている。保険料の減額については今後の医療費の動向を勘案しながら検討していきたい。

**質** 短期保険証の交付世帯数は百四十三世帯、割合にして六、三%となっている。

**質** 古館議員 軽減制度の対象世帯が全体の五割を占めるという状況を真摯に受け止めるべきと思う。国保の引き下げと短期保険証の発行を少なくし有効期間を延長することについて再度答弁を求めらる。

**質** 山本町長 自助、公助、共助という総合的なバランスの中で検討してまいりたい。

**質** 古館議員 社会保障という観点からすれば、国保が町民の大きな負担になっている現状は問題だと思ふ。自治体の責任者として認識が不十分だと思ふが、再度考えを伺う。

**質** 山本町長 総合的な観点で負担を軽減していくことが必要だと思つている。

**質** 古館議員 公共交通の問題について、町長の認識と公共交通の再生方法について伺う。

**質** 山本町長 当町の路線バスの利用状況は緩やかであるが年々減少を続けており、町の負担も年々増加している。

**質** 過疎地域自立促進計画の重点項目として公共交通体制の整備とは認識している。

**質** 山本町長 一学年三学級規模を維持するため、通学助成の増額も含め検討していきたい。

**質** 松浦議員 高校への副食給食提供の開始時期を伺う。

**答** 十二月に軽米高校のPTAから教育委員会へ給食提供についての要望があったと聞いたが、詳細を伺う。

**質** 江刺家教育次長 副食給食のスケジューリングは現在高校と協議しており、四月からというところで進めている。

**質** 十二月一日に軽米高校PTAから給食配膳のための職員派遣、給食費の前納方式での役場への納入、弁当スタイルでの提供についての要望があった。

**質** 松浦議員 副食給食開始のスケジューリングや、町からの人的な支援について明確な答弁を願いたい。

**質** 江刺家教育次長 四月開始に向けて検討していく。

**質** 山本町長 実現に向け最大限の努力をしてまいりたい。

**質** 古館議員 軽米高校への副食給食提供について、進捗状況を伺う。

**質** 山本町長 混乗については地域懇談会等でも要望をいただいております。今後検討していく。

**質** 山本町長 混乗については地域懇談会等でも要望をいただいております。今後検討していく。

**質** 中野教育長 スクールバスへの混乗については今まで指導はしてこなかった。今後研究してまいりたい。

**質** 古館議員 子育て環境日本一の町づくりの具体的な内容について伺う。

**質** 山本町長 保育所、児童館の統合、幼稚園と保育園の一元化、入所園児の給食費相当額で済むよう負担の減額、ワクチン接骨費用の減額、育児相談など育児支援事業の充実、空き家などを活用して

**質** 山本町長 保育所、児童館の統合、幼稚園と保育園の一元化、入所園児の給食費相当額で済むよう負担の減額、ワクチン接骨費用の減額、育児相談など育児支援事業の充実、空き家などを活用して

**質** 山本町長 保育所、児童館の統合、幼稚園と保育園の一元化、入所園児の給食費相当額で済むよう負担の減額、ワクチン接骨費用の減額、育児相談など育児支援事業の充実、空き家などを活用して

**質** 山本町長 保育所、児童館の統合、幼稚園と保育園の一元化、入所園児の給食費相当額で済むよう負担の減額、ワクチン接骨費用の減額、育児相談など育児支援事業の充実、空き家などを活用して

**質** 古館議員 九月の答弁では保育料は無料化と発言していたが、今の答弁では減額となっていた。子育て環境日本一の町づくりの決意を改めて伺う。

**質** 山本町長 自助、公助、共助という考えから、給食費は負担いただき、それ以外を無料化する。低所得者の方々に限っては給食費も無料化したい。日本一の保育環境づくりを目指し頑張りたい。

**質** 古館議員 T P Pの日本の参加について、軽米町の影響額を伺う。町長は政務報告でも反対していたが、改めてT P Pに対する町の対応を伺う。

**質** 山本町長 日本がT P Pに参加して関税が撤廃された場合の本県への影響額は農産物生産額全体で約一千四百六十九億円と試算されている。

**質** 全国町村会においてT P P参加撤回を求める運動を展開しており、今後も若手県町村会や近隣市町村と連携して、要望活動を行ってまいりたい。

**質** 雇用拡大については地域資源や地域の食産業などに関連した企業誘致、六次産業化の推進による内発型企業の育成、福祉産業や緊急雇用対策などにより百人規模の雇用の創出を図ってまいりたい。

**質** 公共交通の整備充実については新たな公共交通システムを導入、整備してまいりたい。中心商店街の活性化については総額一億円程の商店街活性化事業を展開していきたい。

**質** 教育環境の整備については、軽米小学校の建設や町営運動場の整備、情報通信基盤整備事業によるインターネットを活用した教育の推進、小学校へのデジタル教科書の導入を進めてまいりたい。

**質** 交流観光の推進については、春から秋まで花が楽しめる花の町軽米を推進するとともに地域資源の掘り起こしを行いながら魅力ある地域づくりを進めていく。また、当町の豊かな自然を活用したグリーンツーリズムなどによる交流事業の拡大を図ってまいりたい。



町内バス



古館 機智男 議員

**問** 国民健康保険税を引き下げる考えはないか

**答** 今後の医療費の動向を見ながら検討したい

**問** 町内公共交通への対応を伺う

**答** 過疎地域自立促進計画で公共交通の整備を計画している

**問** 子育て環境日本一の町づくりの具体的な内容を伺う

**答** 育児支援や町外からの子育て世代の募集等を行う

**問** 日本のT P P (環太平洋戦略的経済連携協定) 参加に対する町の対応を伺う

**答** 町村会や他市町村と連携し参加撤回を要望していく

**質** 古館議員 国保引き下げの考えはないか。低所得者世帯に対する国保の軽減制度の対象世帯数を伺う。

**答** 短期保険証の交付世帯数を伺う。発行を極力少なくし、有効期間を現在の二ヶ月から最低六ヶ月にすべきと思うがどうか。

**質** 杉浦町民生課長 当町の国保の課税額は一人当たり七万四千九百四十一円、県内平均は八万八千二百九十八円となっている。収納率は九十六、四%で、県内平均九十一、九%に対して四、五ポイントほど上回っている。

**質** 国保の軽減世帯数は、七割軽減世帯が六百三十二世帯、五割軽減が六百九十九世帯、二割軽減が二百七十九世帯、全体では一千八十世帯となっている。保険料の減額については今後の医療費の動向を勘案しながら検討していきたい。

**質** 短期保険証の交付世帯数は百四十三世帯、割合にして六、三%となっている。

**質** 古館議員 社会保障という観点からすれば、国保が町民の大きな負担になっている現状は問題だと思ふ。自治体の責任者として認識が不十分だと思ふが、再度考えを伺う。

**質** 山本町長 総合的な観点で負担を軽減していくことが必要だと思つている。

**質** 古館議員 公共交通の問題について、町長の認識と公共交通の再生方法について伺う。

**質** 山本町長 当町の路線バスの利用状況は緩やかであるが年々減少を続けており、町の負担も年々増加している。

**質** 過疎地域自立促進計画の重点項目として公共交通体制の整備とは認識している。

**質** 山本町長 一学年三学級規模を維持するため、通学助成の増額も含め検討していきたい。

**質** 松浦議員 高校への副食給食提供の開始時期を伺う。

**答** 十二月に軽米高校のPTAから教育委員会へ給食提供についての要望があったと聞いたが、詳細を伺う。

**質** 江刺家教育次長 副食給食のスケジューリングは現在高校と協議しており、四月からというところで進めている。

**質** 十二月一日に軽米高校PTAから給食配膳のための職員派遣、給食費の前納方式での役場への納入、弁当スタイルでの提供についての要望があった。

**質** 松浦議員 副食給食開始のスケジューリングや、町からの人的な支援について明確な答弁を願いたい。

**質** 江刺家教育次長 四月開始に向けて検討していく。

**質** 山本町長 実現に向け最大限の努力をしてまいりたい。

**質** 古館議員 軽米高校への副食給食提供について、進捗状況を伺う。

**質** 山本町長 混乗については地域懇談会等でも要望をいただいております。今後検討していく。

**質** 山本町長 混乗については地域懇談会等でも要望をいただいております。今後検討していく。

**質** 中野教育長 スクールバスへの混乗については今まで指導はしてこなかった。今後研究してまいりたい。

**質** 古館議員 子育て環境日本一の町づくりの具体的な内容について伺う。

**質** 山本町長 保育所、児童館の統合、幼稚園と保育園の一元化、入所園児の給食費相当額で済むよう負担の減額、ワクチン接骨費用の減額、育児相談など育児支援事業の充実、空き家などを活用して

**質** 山本町長 保育所、児童館の統合、幼稚園と保育園の一元化、入所園児の給食費相当額で済むよう負担の減額、ワクチン接骨費用の減額、育児相談など育児支援事業の充実、空き家などを活用して

**質** 山本町長 保育所、児童館の統合、幼稚園と保育園の一元化、入所園児の給食費相当額で済むよう負担の減額、ワクチン接骨費用の減額、育児相談など育児支援事業の充実、空き家などを活用して

**質** 山本町長 保育所、児童館の統合、幼稚園と保育園の一元化、入所園児の給食費相当額で済むよう負担の減額、ワクチン接骨費用の減額、育児相談など育児支援事業の充実、空き家などを活用して

**質** 古館議員 九月の答弁では保育料は無料化と発言していたが、今の答弁では減額となっていた。子育て環境日本一の町づくりの決意を改めて伺う。

**質** 山本町長 自助、公助、共助という考えから、給食費は負担いただき、それ以外を無料化する。低所得者の方々に限っては給食費も無料化したい。日本一の保育環境づくりを目指し頑張りたい。

**質** 古館議員 T P Pの日本の参加について、軽米町の影響額を伺う。町長は政務報告でも反対していたが、改めてT P Pに対する町の対応を伺う。

**質** 山本町長 日本がT P Pに参加して関税が撤廃された場合の本県への影響額は農産物生産額全体で約一千四百六十九億円と試算されている。

**質** 全国町村会においてT P P参加撤回を求める運動を展開しており、今後も若手県町村会や近隣市町村と連携して、要望活動を行ってまいりたい。

**質** 雇用拡大については地域資源や地域の食産業などに関連した企業誘致、六次産業化の推進による内発型企業の育成、福祉産業や緊急雇用対策などにより百人規模の雇用の創出を図ってまいりたい。

**質** 公共交通の整備充実については新たな公共交通システムを導入、整備してまいりたい。中心商店街の活性化については総額一億円程の商店街活性化事業を展開していきたい。

**質** 教育環境の整備については、軽米小学校の建設や町営運動場の整備、情報通信基盤整備事業によるインターネットを活用した教育の推進、小学校へのデジタル教科書の導入を進めてまいりたい。

**質** 交流観光の推進については、春から秋まで花が楽しめる花の町軽米を推進するとともに地域資源の掘り起こしを行いながら魅力ある地域づくりを進めていく。また、当町の豊かな自然を活用したグリーンツーリズムなどによる交流事業の拡大を図ってまいりたい。

# 議会の傍聴に出かけて見ませんか

議会はだれでも自由に傍聴することができます  
議会の傍聴は、町政を知る良い機会です

定例会は年4回（3月、6月、9月、12月）開かれます



民営化したいいち荘の状況視察（2月15日）

## 臨時会で決まったこと

### 第三十五回臨時会

（十一月二十九日議決）

▼特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

▼議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

国及び県の例に準じて期末手当の支給割合を一・六五ヶ月から一・五ヶ月に改定する。

▼一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

国及び県の例に準じて一般職の職員の給与月額、期末手当及び勤勉手当の支給割合を改定する。

### 第三十七回臨時会

（二月四日議決）

▼平成二十二年年度一般会計補正予算（第五号）

総額に一億五千二百二十六万三千円を追加し、総額を六十一億六千三百十万二千円とする。

歳入の主なものとは地方交付税、国庫補助金など。

歳出の主なものとは道路橋りよう費、中学校費など。